

# Maple通信

メイプルつうしん

2023.10

No.39



- 2~4 理事長、院長、学長、校長 座談会
- 5~6 行事紹介、オープンイベントカレンダー（中学・高校）
- 7 Begin your story/進路実績、入試日程（中学・高校）
- 8 イエス・キリストの祝福のもとにある静岡英和学院大学/ご挨拶（大学・短大）
- 9 3年ぶりの一般公開！第57回楓祭！/短期大学の現状と方針（大学・短大）
- 10 学生修学サポートセンターの発足/アントレプレナー育成プログラムについて（大学・短大）
- 11 学院維持協力会
- 12 中高同窓会
- 13 大学・短大部同窓会
- 14 新任紹介欄/人事
- 15 理事会・評議員会/寄付金/学校主要行事表
- 16 寄付金の募集について



特集 理事長、院長、学長、校長による座談会

# 150周年に向けて



おおほし くにかず  
**中学・高校 校長 大橋 邦一**  
 1957年12月3日生まれ 東京出身  
 同志社大学大学院神学研究科博士課程(前期)修了後、The Church Divinity School of the Pacificで在外研究、教師やチャレン(学校付教師)を経て、2013年東北学院中学校・高等学校校長に就任。2019年4月静岡英和女学院中学校・高等学校校長に就任。2023年4月校長に再任。

ながやまる つとむ  
**学長 永山ルツ子**  
 1968年4月16日生まれ 沖縄出身  
 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了後、2004年に静岡英和学院大学に専任講師として勤務。助教授、准教授、教授を経て2018年学校法人静岡英和学院理事・評議員に就任。2022年9月に静岡英和学院大学・静岡英和学院短期大学部学長に就任。

いしい ひろふみ  
**理事長 石井 博文**  
 1949年12月13日生まれ 東京出身  
 武蔵工業大学(現東京都市大学)工学部を卒業後、民間企業の勤務を経て1980年学校法人芝浦工業大学に勤務。総務部長、学事部長等を経て2006年から同法人理事に就任。事務局長、常務理事、専務理事を歴任し、2015年7月学校法人静岡英和女学院理事長に就任。2019年7月、2023年7月理事長を重任。

しばた さとし  
**院長 柴田 敏**  
 1958年4月26日生まれ 神奈川出身  
 筑波大学大学院文芸言語研究科博士課程を単位取得退学後、1990年に静岡英和女学院短期大学に専任講師として勤務。助教授、教授を経て2010年短期大学部部長に就任。2016年4月から学校法人静岡英和学院院長、静岡英和学院大学・静岡英和学院短期大学部学長を兼任。2022年4月から院長に就任。

**学生・生徒が何を学んだのか どういった形で社会に送り出すのか**

**柴田** 150周年に向けてという事で、皆様にご発言をいただきたいと思っています。まず石井理事長、お願いします。

**石井** 150周年に向けて多くの課題がありますが、何と云っても一番の課題はいかに学生・生徒を集めるかだと思います。その特効薬はないので、いろいろな意味で地道に広報活動を続けなければなりません。やはり何よりも大切なのは、学生・生徒が何を学んだのか、そして、各学校はどういった形で学生や生徒を社会に送り出すのかという事が一番重要だと思います。社会が求めているものは一律ではなく、常に変化している、それに遅れないように教育や研究を行っていくことが重要なのだと思います。それを実現するために法人はどのように支援できるのか、バックアップできるのかを考えるのが、われわれの仕事だと思います。

**柴田** 中学高校、大学と短大とございますが、では大橋校長からお願います。

**大橋** 理事長がおっしゃったように、変えてはいけないものは変えなければならぬということがあります。英和女学院中高の良さといえは定評のある人間教育と英語教育です。十年前から高校からの入学生を認めるようになって、最近中学校を訪問している教員たちから話を聞くと、だいぶ認識をされてきていると思います。十年前とは随分違うという事です。そこから聞こえてくるものも、英和の人間教育と英語教育への信頼の高さだと思います。英和の教育そのものはこれからの時代においても大事なものだと思います。ただ中にいる人はその良さを感じられませんが、広報がうまく伝わっていないと思います。

実際に、EIWADAYなどで英和生に接すると、「英和っていい学校だな」「英和に入りたい」という方が多いですが、入学を決めた理由も「英和生と触れ合っただけから」という声が多いです。そこに行くまでの間をどうしたいかと思っっています。英和は特別な学校というイメージがあり、古くからの伝統があって、そのことで来ていただけの方もいる程度の方が多いです。一方で新しいものを入れている時に、例えば校則を緩めたり、スラックスを導入するとか、あるいは髪形の規則を緩くするとしたら、ある程度、受験者層は厚くなると思いますが、今まで英和がいいと言っていた方が逃げていってしまうんじゃないか、その辺りが難しいと感じています。

**柴田** 永山学長いかがですか

**永山** 135年前にカナダのミス・カニングハムが、全く知らない日本に教育を持ってきて、言葉もわからない中で今の礎を作ったことは、すごいことだと思います。それが私たちが静岡英和の根底にあると思うので、これから多文化共生を考えた時に、日本人だろうが、留学生だろうが、男性だろうが、女性だろうが、地域で人を育てることが、静岡英和が一番に持たなければいけない隣人愛だと思います。

このごろはITもあります。丁寧な教育の良さが、英和にとって大切だと思います。マス大学では教員一人当たりの学生数が多いですが、英和の場合は、大学、短大ともに、教員一人当たりのゼミ生も、少人数制により全員の顔も名前もわかっています。その中で丁寧な育てることが必要だと思います。今年度から学生修学サポートセンターを作りましたが、オープンキャンパスや高校の進路担当の先生のお話を伺うと、修学サポートセンターに期待を持ってくださる方が多いと思います。それは中学、高校で生きたらさや発達障害を持った生徒が、



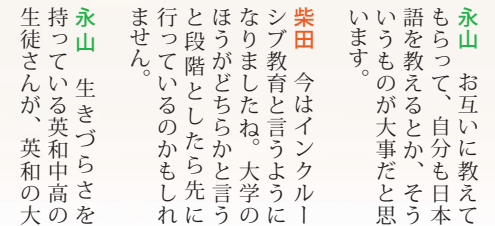


**石井** やり方の一つとして、修学サポートセンターに来る学生には、わ

**永山** はい、今年度はスチューデント・リトリートが開催されますが、修学サポートセンターが独自に企画するスチューデント・リトリートも考えています。障害をもっているお子さんの就職に役立つように、県内の就労支援センターがパソコンやコミュニケーションの取り方などのお話をしてくれそうです。キリスト教のお話を聞きながら、近隣をまわって就労支援センターも見学するというコースです。宿泊を伴わない、その子たちだけの特別なリトリートです。

**石井** 修学サポートセンターは軌道に乗ってききましたか？

高校を卒業した後どこに行けばいいかという悩みを抱えていて、いかにして独り立ちしていくということ、不安視しているからだと思います。そのような中、だれも見捨てないということが重要だと思えます。静岡で暮らしてその子を自立させていく、それは日本人や留学生など分け隔てなく育てるのが、本学の使命だと思っています。それはずっと続いていくべきであると思います。



**柴田** チューター制、ピア・ラーニングですね。

**永山** オープンキャンパスなどで、夏休みの家庭教師のような形で教えらる、自分も自信になり、教えてもらった人は丁寧な教えてもらってモチベーションも変わるので、やはり循環型教育は重要だと思います。

**石井** 留学生にもそういったサポートを付けてあげればいいのか？

既にやっている、今回の障害のある学生の学生のスチューデント・リトリートに関しても、学生からの発案でした。理事長がおっしゃったように循環型教育、自分がこうだったから行っていくというのが重要だと思えます。

**永山** お互いに教えてもらって、自分も日本語を教えるとか、そういうものが大事だと思います。

**柴田** 今はインクルーシブ教育と言うようになりましたね。大学のほうがどちらかと言うと段階としたら先に行っているのかもしれない。

**永山** 生きづらさを持っている英和の中高の生徒さんが、英和の大

**永山** データサイエンスについていろいろなど、幅広く使われていますが、それを使うのは日常生活、経営、マネジメントで使うのではなく、何かと合わせなければいけないと思います。そういう点では静岡英和の人間社会学部では福祉、経済、心理など異業種でマッチングできるようにしており、幅広い知識と教養を身につけることができます。今年度から数理・データサイエンス・AI教育プロ

学まで行けば就学サポートセンターもある、カウンセラーの先生は中学高校と同じ先生です。と診てくれるというのは、すごくいいことだと思います。英和中高から英和大学、短大へ来ていただくのもいいと思います。

**大橋** いまカウンスラーの先生が中学校の学年ごとにケーススタディを行っていて、高校でも行った方がいいという話をしている、大学にうまくつなげられたらいいと思います。

**永山** データサイエンスについていろいろなど、幅広く使われていますが、それを使うのは日常生活、経営、マネジメントで使うのではなく、何かと合わせなければいけないと思います。そういう点では静岡英和の人間社会学部では福祉、経済、心理など異業種でマッチングできるようにしており、幅広い知識と教養を身につけることができます。今年度から数理・データサイエンス・AI教育プロ

**柴田** 工学部、理学部でないと思えば、一方で実際にAIを使うという事は、それ以外の学部でもできるという事ですね。中高も以前からICTには取り組んで来られていますね。

**大橋** チャットGPTや生成AIはいろんな所で使われていると思います。文部科学省でも進めるところは進めるという話です。これまで中学三年生からタブレットを持たせていますが、中学校一年生も二年生も自分のデバイスを持参していいと案内したら、9割方タブレットを購入していました。先生方も各クラスにホワイトボードがあるので、ほとんどの先生がホワイトボードで授業をしています、私自身の授業もタブレットで行っています。動画を見せたり、教科書を使わないで授業をしています。活用の仕方はたくさんあります。



**石井** 教室内のIT環境も変わっていくのではないのでしょうか。

**柴田** これからの教育を作っていくという事で、ICTやAIもそうですが、学院全体で取り組んでいきたいと思っています。今までのことではなくてこれからの視点ということですね。

**永山** 先ほど大橋校長がおっしゃったように変えてよいもの、変えないところを大切にしながら新しい時代に即した教育を作っていけたらと思います。

**柴田** 工学部、理学部でないと思えば、一方で実際にAIを使うという事は、それ以外の学部でもできるという事ですね。中高も以前からICTには取り組んで来られていますね。

**大橋** チャットGPTや生成AIはいろんな所で使われていると思います。文部科学省でも進めるところは進めるという話です。これまで中学三年生からタブレットを持たせていますが、中学校一年生も二年生も自分のデバイスを持参していいと案内したら、9割方タブレットを購入していました。先生方も各クラスにホワイトボードがあるので、ほとんどの先生がホワイトボードで授業をしています、私自身の授業もタブレットで行っています。動画を見せたり、教科書を使わないで授業をしています。活用の仕方はたくさんあります。

**永山** 夏休みなどに英和中高の施設をお借りすることもあるかと思えます。

**石井** 設備の計画的な更新のための資金積み立てなども必要だと思えます。

**永山** 教育実習の授業も、文部科学省がICTを使う教育実習という科目を入れていきますので、その子たちが教える授業の部屋の設備投資はしたいと思っています。

**大橋** コロナでオンライン授業が増えたので、これまでパソコンを使わなかった先生もやらざるを得なくなりICTも進みましたが、苦手な先生はコロナ前に戻っている状況です。教員が世代交代をするのであれば、私学協会の教員の適性検査がなくなるので、英和独自の適性検査を含めた、教員採用のあり方をまとめています。また新しい先生は若い先生が多いので、研修制度についても考えていきたいし、ICT教育も組み込んでいきたいと思っています。今度もコンピューターで行うことも増えていくと思います。

**永山** 昨年、私学協会のICTの専門部会というものができて、静岡大学の先生に来ていただいて研修会をしたり、東京の学校へ研修に行ったり、いろんなカリキュラムを作っているところも多いと思います。今年は静岡大学の先生に来ていただいて生成AIについてお話を伺うことになっていきます。



が、少しでも褒めてあげると伸びていきます。チャットGPTも褒めてくれるかもしれないけれど、生の人間が褒めたほうがいいと思います。

**人と人の出会いは大切に**

**柴田** なにかも機械におまかせではなく生きていく人間同士の出会いは大切だと思います。教員を育てることが大切で、教員も生徒に育てられるということもあると思います。そこで本学はキリスト教が柱としてあるので、人と人の出会いは大切にしないといけないことだと思います。

**永山** 理念から離れている方もいるので、すこし寂しく思います。

**大橋** さきほど生徒に育てられるという話があり、グループで学ぶという事がありますが、中高では最近上級生が経験したことを礼拝で話したり、今年は中学一年生も修養会であったことを話してもらいました。それぞれの経験を朝の礼拝で話してもらおうとお話が終わると生徒が全員拍手するのです。最初は礼拝なので拍手はやめた方がいいという話もありましたが、自然に湧いていることなので止めることはやめています。体育祭で中心になった子や高校三年生の修養会で経験したことを話してもらいますが、生徒同士の話と違うのはすごく良く響くみたいですね。私は生徒の話に驚かされたり、素晴らしい話がいっぱいあると感じています。

**石井** 大学でも昔、学生が話す機会がありましたね？

**永山** 現在、宗教センターを作っていますので、大学でもこれから行っていくと思います。

**大橋** 永山学長がおっしゃったように、一人一人を大切にしている教育は英和のいいところだと思います。一方でAIが進んでいきますので、それに対応していく学校にならなければいけないと思います。今後いろんな職種が変わるのでしょうか？

**石井** なくなる仕事もあると言われるていますね。

**柴田** 首都圏の鉄道が減便すると言われていて、インフラを担っている企業も変わってきますね。

**永山** インフラがなくなると、地方は切り捨てられそうですね。

**石井** 窓口対応を生成AIに頼ると、結果はいいかもしれませんが、人間味がなくなるだけでなく、学校教育が成り立たなくなりますが、

**永山** 最先端の教育が必ずしもいいとは限らないかもしれないですね。

**柴田** 生きる力をつけていけないといけませんね。

**永山** 今の若い子たちはSNSの承認欲求が強く、他の子たちより優れなくてはいけない、自分はダメなのだという学生が、英和にもいます

**石井** 在學生と接点を持つことにより、宗教が身近に感じられて、とてもいいと思います。

**永山** スチューデント・リトリートを4年ぶりに行うので、その後に話してもらおうのいいと思います。

**柴田** コロナで在宅とカリモート授業が中心で、リトリートのような経験がずっとなかったと思います。リモート授業は「最初は珍しいですが、家での生活は毎日と同じだと思えます。まだコロナが完全に問題にならなくなったというわけではないですが、学生生徒がいろんな経験することがないと思えます。やつと中高は修学旅行もカナダ研修旅行も来年から行けるようになりましたね。

**永山** 実体験は何よりも大きいですよ。

**柴田** 若いときに海外に行くということはいいいことですね。

**大橋** 3年間個人的にも海外に行けなかったのですが、今回来ようとするかという話をしたら海外に行きたいと言っている人が多かったです。東洋英和や山梨英和に話を聞いても、同様でした。

**石井** カナダに研修旅行という話になって、積立した金額では足りなくて割増が必要と言われても、行きたいという方が多いみたいですね。海外へ行くから英和に入れたという保護者の方もいらっしゃいますよ。

**大橋** カナダに行くのが夢だったという生徒もたくさんいました。



**石井** 若いときに経験したほうがいいですね。日本のことを勉強してからという意見もありますけど。

**大橋** 中学三年生で以前台湾に行っていた修学旅行を、京都・奈良に変更しました。日本のことを中学三年生の修学旅行で体験したうえで、高校の修学旅行でカナダに行きましようという話になりました。

**柴田** 海外と言っても、英和の場合はカナダですよ。

**永山** 大学もカナダとまた協定を結びたいと思っています。もともとカナダの宣教師が作った学校なのだからと思います。

**柴田** そういう形で建学の理念が結びついていくと思います。

**ふるさと納税のやり方を寄付事業に**

**石井** 最後にひとつお願いがあります。法人を支えている一つが寄付金だと思っています。今のふるさと納税のやり方を寄付事業に取り入れられませんかと思っています。中高同窓会がセーラー服制定百周年記念で作った英和の制服のリカちゃん人形を返礼品にしたり、卒業生や在校生に関連

する企業の商品を返礼品にするのはどうですか、例えばお茶園のお茶などはどうでしょうか？今は寄付してもメイプル通信にお名前が掲載されますが、それだけではなくて一定金額以上の寄付をしていただけたら返礼品が届くという仕組みです。

**大橋** いいと思います。リカちゃん人形は大変人気で在校生も購入したようですよ。

**石井** 150周年の時には建物を建てるというのは難しいと思うので、教育環境の整備を掲げて寄付を募るほうがいいのではないのでしょうか。十年くらいかけて集めればと思います。

**永山** 理事長がおっしゃったように、うちの中高・大短含めた卒業生の企業に返礼品のご提案をいただくのがいいのではないのでしょうか。

**柴田** 静岡の地元産品となると地域貢献になると思います。

では、最後に150周年に向けて石井理事長お言葉いただけませんか。

**石井** 今は、拡大路線は到底目指せないで、今の規模を維持しつつずっと輝いている学院でありたいと思います。静岡で一つでも英和が一番であることを、作っていただければいいと思います。

**永山** 英和の中高・大学短大の卒業生は、本当にいいと思われるように一人でも多く育てていただきたいと思っています。

**柴田** そもそも立ち上がった時が、県内初めての女学校であって、今の中学高校にあたるわけですが、カナダの人が来て英語教育をするという事で国際的な学校ということで誕生したので、国際性を伸ばしていただきたいと思います。



## 行事紹介

### 夜桜乱舞

四月一日「第六十七回静岡まつり」夜桜乱舞に英和生約五十名が参加しました。二〇一五年より毎年参加していましたがコロナ禍で中止となったため、二〇一九年以来四年ぶりの参加となります。

当日は天候にも恵まれ、夕方



十七時から夜の二十時まで御幸町通りを踊り歩きました。ピンクの法被を着て、意気揚々と踊る英和生は輝いて見え、静岡まつりを盛り上げていました。卒業生や教職員も応援に来てくれて、一般のお客様も楽しめるように日頃から練習を積み重ねた努力を発揮することができました。

### 長崎スタディツアー

高校二年生は、五月九日（火）から十二日（金）の三泊四日の日程で、国内のスタディツアーとして長崎方面に出かけました。旅行中、穏やかな天気に恵まれたので、順調に日程をこなしていくことができました。その中からいくつかのトピックを紹介したいと思います。

初日に立ち寄ったのは、平和公園。爆心地に近い小高い丘にある平和公園は、悲惨な戦争を二度と繰り返さないという誓いと、世界恒久平和への願いを込めてつくられました。それを象徴する高さ九・七メートルの平和祈念像。天を指した右手は「原爆の脅威を、水平に伸ばした左



手は「平和」を、軽く閉じた頬は「原爆犠牲者の冥福を祈る」という想いを込めています。生徒たちも写真にその姿を収めつつ、被爆者の苦しみに思いを馳せていました。



二日目は、自由行動です。日本にキリスト教が伝わり、保護から一転厳しい迫害の歴史へ。それを想起させる遺物は長崎に多く残っていて、大浦天主堂もその一つです。ここに足を運んだ生徒たちは、毎朝入堂している本校の礼拝堂とは異なった、カトリック教会独特の雰囲気を感じていました。

この日は、世界遺産として有名な「軍艦島」にフェリーで上陸しました。廃坑となった炭鉱

の跡。台風のダメージを受けることもあり、多くの人たちの手によって補修が繰り返されています。残されていたアパートや学校からは、そこで暮らしていた人たちの息遣いが感じられるようでした。

三日目は、柳川下り、有田焼き、九十九島観光に分かれて思い思いの楽しい体験をしました。

この旅行のために、実行委員会が中心となって、思い出作りのために準備を重ねてきました。学年の生徒全員が参加することができ、ふだんは目にする事ができない日本の姿を心にとめることができました。

来年は本校の信仰のふるさと、カナダへ向かうスタディツアーが復活することを祈念したいと思います。



### 体育祭

五月三十一日（水）、草薙総合運動場体育館このはなアリーナで「体育祭」を開催しました。

本校の体育祭は、中学一年生から高校三年生まで学年対抗で



競われます。生徒たちにとって、六年間の学校生活の中で思い入れが強い特別なイベントです。学年ごとに紫、黄、青、オレンジ、緑、赤の学年色があり、卒業してからも「自分たちの色」として大切にしていきたいです。

恒例の「長縄跳び」から競技がスタート。八の字跳びと全体跳びで回数が競われます。ジャンプするタイミングを合わせるための大きな掛け声と、縄を回





す音が体育館に響きます。二時間の制限時間ギリギリまで諦めずに何度も何度も繰り返し返す姿に、生徒たちの体育祭に懸ける熱い思いがひしひしと伝わってきました。

午前の最後は「学年応援披露」が行われました。持ち時間の中で学年ごとに他の学年にエールを送り合い、自分たちが体育祭にかける思いや意気込みを歌やダンスなどでアピールします。

この種目は普段面と向かって言えない思いを伝える大事な機会でもあります。お世話になってる先輩には尊敬や憧れ、可愛い後輩へは優しい応援メッセージが贈られました。

ファイナルリレーは各学年十二人が出場します。順位によって与えられる得点が大きく違い、結果が左右される最後の競技とあって生徒たちの熱気と興奮は最高潮に達し、保護者の皆さんも思わず立ち上がってエールを送っていました。

**花の日礼拝・訪問**

六月の第二日曜日はキリスト教の行事の一つ「花の日」です。十九世紀にアメリカのある教会の牧師が、子どもたちが信仰を持つように願い、子どもたちの礼拝を行いました。それが全米に広がり、教会の行事「子どもの日」となりました。数十年後、その日に花を持ち寄って礼拝をしたことから「花の日」と呼ぶようになり、一八八一年メソジスト教会が六月第二日曜日と定め、次第に全世界へと広がりま



そして総合得点の結果は・・・三位が中三、二位が高二、そして一位が高三、高三が優勝するのは三年ぶり、最後の体育祭で見事有終の美を飾りました。六年間の学校生活で一番記憶に残るイベントとして「体育祭」をあげる英和生も多く、一生付き合っていける仲間とのかけがえのない思い出となりました。



した。

一番町教会の松木田優先生の説教では、「今日をただ花を人々に配る日で終わらないでください。英和女学院で行われる花の日は植物の日ではありません。花の日は神様の日でもあります。花を通して神様の思いを探し、伝えに行ってください。それが私たちにふさわしい、私たちの花の日です。今日一日が祝福に

## オープンイベントカレンダー

小学生、中学生の皆さんが参加できる静岡英和のオープンイベント一覧です。多くの方々の参加をお待ちしています。

◎小学生・中学生対象

**英和祭（文化祭）**  
9/9（土）10:00～16:00  
静岡英和のクラブの一大イベント。ステージに、そして展示に英和生が輝きます。  
「来て・見て・楽しんで」いただけるイベントです。  
詳しくはホームページをご覧ください。

**授業公開週間**  
11/6（月）～11/10（金）  
小中学生を対象に授業公開を行います。  
\*事前申し込みは不要ですので、当日ご来校ください。

**学校クリスマス**  
12/16（土）  
神の独り子イエス・キリストの誕生を祝うクリスマス。キャンドルに光を灯しながら、平和を祈ります。  
静岡英和が最も大切にしている行事のひとつです。  
詳しくは、12月以降のホームページをご覧ください。

◎小学生対象

**中学入試説明会**  
10/14（土）・11/18（土）  
10:00～11:30  
10/27（金）18:00～19:30  
個別相談の時間はご相談ください。

◎中学生対象

**学校紹介**  
10/14（土）・11/18（土）  
13:30～15:00  
中学生を対象に、本校の魅力や特色を紹介します。

**高校授業公開**  
11/4（土）  
10:00～11:30  
中学生を対象に授業公開を行います。  
\*事前申し込みは不要ですので、当日ご来校ください。

**高校入試説明会**  
12/2（土）・12/9（土）  
10:00～11:30  
「これでバッチリ！入試対策」入試ワンポイントアドバイス（筆記試験、面接試験）

**個別相談会**  
12/11（月）～12/16（土）  
個別相談の時間はご相談ください。筆記試験、面接試験など入学試験についてご質問いただける個別の相談会です。

最新の情報は、  
こちらから

## Begin your story

本校は、一八八七年（明治二十年）の創立以来、社会状況が大きく変わっていく中においても、キリスト教に基づく女子教育を守り抜いて、実践してきました。そして、現在も、ひとりひとりが持つ未来への可能性を大切に育てるために、他では経験できない特色ある学校行事と雰囲気の中で、徹底した少数による教育を展開しています。

さて、本校の進学実績を報告します。大部分の生徒が四年制大学への進学を考え、多くの生徒が第一志望の進学先に合格しています。進学準備の生徒は、過去三年でも数名です。「第一志望校への現役合格」、その実現性が極めて高いことが、本校の進学指導の特徴です。

今年度も七十五名の卒業生が、横浜国立大学・青山学院大学・関西学院大学・東京女子大学・国際基督教大学などに進学しました。また、静岡英和学院大学・同短期大学部には、内部推薦制度を利用し、進学する生徒もいます。

本校の看板「英語のEIKAI」。現在求められている実用英語の修得は、時代に先んじて長年実践してきました。例えば、カナダ姉妹校への一年留学と交換留学、ニュージーランド・カナダに三ヶ月間のホームステイ、オンライン英会話、県内のイングリッシュ・キャンプなど、英

語力を伸ばしたい生徒には魅力的な環境が揃っています。

それらを期待し、英語に興味関心のある生徒が、本校を受験するケースが増加しています。中学受験では、受験科目に英語を導入した上で奨励制度を設けています。出願時に実用英語技能検定（Ⅱ英検）三級以上の取得者は「入学金免除」となり、特典制度として、英検四級以上の取得者またはスピーチコンテスト入賞者は「入学検定料免除」となります。高校受験の特典制度としては、英検二級以上の取得者は「筆記試験免除」及び「入学金免除」、英検準二級以上の取得者は「入学金免除」となり、特典制度として、英検三級以上の取得者または中学校の代表としてスピーチコンテストに出場した生徒は「入学検定料免除」となります。

高校募集も次第に軌道に乗り、今年度は二十四名の生徒が入学することとなりました。英和中学から進学した生徒と新しい友人たちがお互いをリスペクトし、すぐに和やかな関係が生まれます。このことからわかるように、本校は女子だけの、落ち着いた学校です。その先に充実した指定校推薦や、個別の進路指導があります。

是非本校での学校生活を多くの方にお伝えください。静岡英和女学院中学校・高等学校の最新情報は、ホームページで詳しく紹介しています。ホームページでは、生徒が中心になって作成した動画なども配信中です。また、同窓会の活動のページもご覧ください。

今後とも本校の教育活動にご協力いただきますよう、心よりお願い申し上げます。



2024 (令和6) 年度 中学入試日程	
出願期間	2023年12月9日(土)～12月16日(土)10時
出願方法	Web出願 (本校ホームページよりお手続きください。)
試験日	2024年1月6日(土) 単願(定員70名) スポーツ実績優秀者受験はA日程のみ
検定料	15,000円
免除条件	(1)出願時に、英語検定4級以上、漢字検定4級以上、 数学検定4級以上の資格を取得している者又は 同等の資格取得者 (2)小学校在籍時に英語スピーチコンテスト等で入賞し、 賞状等を受け取った者
合格発表	2024年1月7日(日)14時 H.P.上での発表は1月10日(水)の16時まで
入学関連書類配付	2024年1月7日(日)に本校事務室より郵送 ※納入金振込期限:1月10日(水)

B日程	
出願期間	2024年1月9日(火)～1月18日(木)12時
出願方法	Web出願(本校ホームページよりお手続きください。)
試験日	2024年1月20日(土)併願可(定員20名)
検定料	15,000円(ただし、A日程に出願した場合は無料)
合格発表	2024年1月20日(土)14時にH.P.上のみで発表 1月24日(水)の16時まで
入学関連書類配付	2024年1月23日(火) 本校事務室より郵送 ※納入金振込期限:1月24日(水)

奨別制度・奨学金(授業料等減免)制度	
入学試験成績優秀者	入学料210,000円の納入免除+月額授業料の内23,000円から公的助成金を除いた額を1年間奨学金として免除
英数資格保持者	入学料210,000円の納入免除
スポーツ実績優秀者 入試日に実技テスト有り	入学料210,000円の納入免除
奨学金制度	本校中学校・高等学校の在校生の姉妹及び静岡英和学院大学、静岡英和学院大学短期大学部に在学する学生の姉妹、本校同窓生の子女と姉妹を対象※

2024 (令和6) 年度 高等学校入試日程	
出願期間	2024年1月17日(水)～1月25日(木)
出願方法	Web出願 (本校ホームページよりお手続きください。)
出願書類提出	2024年1月30日(火)～1月31日(水) 9:00～16:00
試験日	2024年2月6日(火) 定員120名(但し、併設中学校からの進学者を含む。) 追試験 2024年2月13日(火)
検定料	15,000円
免除条件	(1)出願時に、英語検定3級以上、漢字検定3級以上、 数学検定3級以上の資格を取得している者又は同等の資格取得者 (2)中学校在籍時に英語スピーチコンテスト等に学校代表として出場した者
合格発表	2024年2月16日(金) 正午にH.P.のみで発表
入学納入金振込期間	単願者 2024年2月16日(金)～2月21日(水) 併願者 2024年3月15日(金)～3月17日(日)

再募集A日程	
出願期間	2024年2月16日(金)～2月20日(火)13時
出願方法	Web出願 (本校ホームページよりお手続きください。)
出願書類提出	2024年2月20日(火)9:00～16:00、2月21日(水)9:00～14:00
試験日	2024年2月22日(木) 定員若干名(入学者が定員に満たないと判断される場合に実施します。)
検定料	15,000円
合格発表	2024年2月26日(月) 正午にH.P.上のみで発表
入学納入金振込期間	単願者 2024年2月26日(月)～2月29日(木) 併願者 2024年3月15日(金)～3月17日(日)

奨別制度・奨学金(授業料等減免)制度	
特待生	入学料150,000円の納入免除+月額の授業料の内23,000円から公的助成金を除いた額を1年間奨学金として免除
準特待生	入学料150,000円の納入免除
英語特待	入学料150,000円の納入免除
スポーツ特待	入学料150,000円の納入免除
奨学金制度	本校中学校・高等学校の在校生の姉妹及び静岡英和学院大学、静岡英和学院大学短期大学部に在学する学生の姉妹、本校同窓生の子女と姉妹を対象※

※詳細は生徒募集要項を参照してください



## イエス・キリストの祝福のもとにある静岡英和学院大学

宗教主任 佐々木 謙一

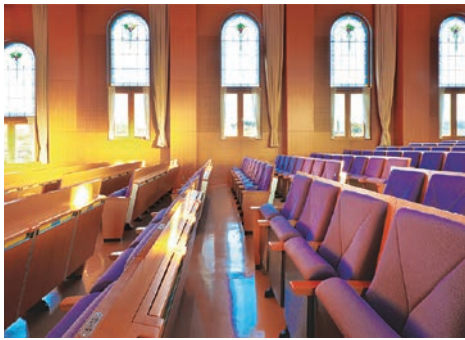
静岡英和学院大学は、4年間を通して聖書並びにキリスト教を学ぶことによって、本校の基本理念であるキリスト教になじみ理解することを目的としています。そして、キリスト教の持つ歴史性、高い倫理観、豊かな思想と想像力に触れることで、「道徳人、実力人、世界人」としての人間形成を目指しています。

静岡英和学院大学では毎週水曜日10:30から1年生を中心として礼拝を行っております。礼拝においては讃美歌を歌い、聖書を読み、院長先生、学長先生、宗教主任を中心に先生方のお話を聞きます。讃美歌を歌い、聖書を読んで、先生方の話を聞くことにより、心を落ち着かせ、1週間の生活の準備をするようにしています。礼拝は静岡英和学院大学のキリスト教教育の基点です。この毎週の礼拝を行うことにより、イエス・キリス

トがわたしたちの罪の身代わりのために十字架に掛かってくださったことを知り、キリストと共に生きていく喜びを知る機会となっております。

また、週に1コマ、大学・短期大学の1年生全員がキリスト教に関する必修の時間を持っています。そのような時間の中で、キリスト教の基本的なことや聖書について勉強しています。1年生ではキリスト教や聖書に慣れるために、聖書を読みながら基礎的なことを学んでいきます。入学したばかりの生徒はキリスト教に初めて触れることも多いことから一人ひとり丁寧にキリスト教と聖書について教えていきます。そして、まずキリスト教に対する先入観を取り払ってもらい、キリスト教を好きになってもらうことを心掛けています。

その他に、会議や研修会があ



る度ごとにお祈りをもって始め、9月には1年生を対象にスチューデントトリトリートを山中湖で行います。また、クリスマス時期にはクリスマス礼拝を行ってイエス・キリストがわたしたちのためにお生まれなされたことをお祝いします。このような学校生活を送っていることで、生徒にとって礼拝やお祈りはごく自然な行為として、また聖書は身近な存在となつていくようになります。実際に学生時代には教会に通うことのないかたの生徒も卒業後静岡英和学院大学での生活を思いだして、教会に通い洗礼を受けるまでに至った生徒もいるというのを聞いております。

キリスト教の教師としては、在学中に信仰に目覚めてもらえれば何よりもうれしいことではあります。卒業した後には大学の学びを思い出して、社会に貢献できる人材になってくれることを願いつつ教育を進めています。静岡英和学院大学は生徒一人ひとりを大切に、将来の社会を支えていくてくれる人材となるように育て教育していきたいと思っております。

最後に、皆様方にもいつも静岡英和学院大学をご支援していただいていることを感謝しつつ、主イエス・キリストに従ってよい教育を行って行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひしいたさいであります。

## ご挨拶

人間社会学部長 林 智幸

皆さん、初めまして。令和4年9月28日から人間社会学部学部長となりました林智幸と申します。今回の記事では、私自身のこれまでの本学での活動を振り返りをもって、学部長としての自己紹介に代えさせていただきます。

生まれも、そして30歳近くまで私は広島におり、またあまり旅行もしない人間でした。静岡赴任直前であっても、静岡に対しては、富士山、お茶、地震対策をしつかりしている地域という程度の非常に乏しいイメージしかありませんでした。それゆえに、逆にどのような場所なのか、少しの不安と多くの期待を持った状態で本学に専任教員として赴任しました。

実際に大学組織の一員となることで校務分掌に従事するようになりませんが、これにより「自分が所属する大学とは何か」「そもそも大学とは何か」という大きな視点を持たざるを得ないようになりました。むろん、その時々に応じた活動内容に則した視点となりませんが、主に教務委員として貢

献をさせていただきました。最終的には教務部長を務めました。教務委員は、大学カリキュラムに基づいて学生に授業を適切に受講させる環境を整備して、大学が想定する知識・技能などを習得した学生を育てる機能・過程に大きく関わるため、大学をカリキュラム・教育の観点から「大学とは何か」を考えさせていただきました。

学部長となった現在では、もちろん学部のとおりまじめという重要な働き他に、数多くの会議では「大学を代表する者のうちの1人」として発言を求められるようになりました。これにより「大学内の立場で大学を考える」から「大学外部を意識して大学を考える」へと視点が大きく変更していくことになりました。このことは、改めて大学人としての自分とは何者かという自分の再構築にも関連します。ので、いろいろと経験を積みながら、模索をさせていただきたいと思っております。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。



## 3年ぶりの一般公開！第57回楓祭！

2022年11月19日(土)に開催した第57回楓祭は、3年ぶりの一般の来場者を招いての開催となりました。コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、通常2日間の開催を1日開催とし、来場者の検温や手指消毒、マスク着用等の基本的な感染対策を徹底し、万全を期しての実施としました。

第57回楓祭では短大生を中心に多くのゼミやサークルが参加して、3年前を超える30を超える模擬店等が出展しました。また、外部団体として静岡英和女学院短期大学第1期卒業生が所属するコスプレ団体「Joy Chant」をお呼びしコンサートを実施するとともに、トークライブでは元サッカー日本代表の武田修宏氏をお招きし、ご講演いただきました。



当日は10時過ぎ頃から本学で準備したシャトルバスは満員、路線バスも人が溢れるほどの900人近い来場者をお迎えし、学生を加え延べ1,000人以上の活気ある楓祭となりました。模擬店では午後の始めに完売するブースが出てくるなど、嬉しい叫びが聞こえてきました。コロナ以前の楓祭よりも多くの一般のお客様にご来場いただき、本学の様子や学生の活気ある姿をご覧いただけました。

ご来場いただいた方のアンケートでは、楓祭を楽しむことができたかとの質問に対し、回答者全員が「はい」とご回答いただき、来年度以降の楓祭も来たいと思うかとの質問には、86.9%の方が来年度以降も来たいとご回答いただけました。アンケートから非常に満足していた



いただいたことがうかがえました。また、コメントの中には「呼び込みをしている方々がとても生き生きして楽しそうだった」や「元気で丁寧に接してくれたから」等、本学学生たちの素晴らしい面を一般の来場者の方々に感じていただけたことが成果だと考えています。

今年度の楓祭については、新たな実行委員会が組織され、昨年度にはなかった実行委員会主催の企画を計画をしています。また、現在の出展希望だけでも既に昨年を上回る出展希望数が出てきており、2022年よりも盛大に開催しようと企画中です。今年の楓祭開催日は11月18日(土)・11月19日(日)の2日間です。楓祭をきっかけとして、本学の活気ある姿を多くの方にご覧いただくとともに、楓祭が地域の活性化の一助になれるよう学生・教職員一同、準備をすすめていきたいと考えています。



## 短期大学の現状と方針

短期大学部部长 児玉 和人

この度、短期大学部長に就任した児玉和人です。私自身は短期大学部長職就任がもう少し先の話であろうと思っております。打診を受けた時には正直に驚きました。ここでは紙面を借りて短期大学部長としての所信を表明させていただきます。

競争状況は、本学短期大学の学生確保に大きな影響を与えています。

学内での委員会業務では、入職してから現生部長、入試委員長を経験しました。学内業務は担当課の職員、同僚の先生から多大なご協力、ご支援を頂いたこと何となく職務遂行を遂げて来ました。改めて感謝を申し上げます。

このような現状を打破するためには二つ要件が必要と考えます。第一には新聞、テレビのマスメディア等で教育活動をとり上げられる広報活動を強化する必要があります。特に、保護者、社会人向けにはマスメディアを活用して自宅通学での教育費の安さ、実践的な教育内容をアピールする必要があります。第二には優れた経営を実践する大学から学ぶ必要があります。昭和、武庫川、安田女子大学では高い評価を得ています。また、専門学校の優れている教育科目、経営実践を学習して内部に取り入れたり、あるいは相互連携を結ぶという方法があります。

短期大学の置かれた現状はたいへん厳しい経営環境にあります。経営環境が変化した理由は、人口、地理的、そして競争要件の変化に求められます。大きな要因は静岡県内18歳人口が減少しているからです。県内高校生は、県外進学者希望者75%が首都圏、中京圏の県外大学、専門学校に進学しています。県内の静岡県では、県内進学者25%を獲得するために、県内大学、各種学校との獲得競争が激化

以上のように今後取り組む所存であります。しかし、私だけでは当然短期大学の経営能力、価値向上の取り組みが行えないからです。ぜひ、本学教職員のご協力、ご支援、ご助言を賜りたいと思います。

## 学生修学サポートセンターの発足

2023年6月から「学生修学サポートセンター」が発足致しました。本学建学の精神のもと、既に、学生の修学支援については、大学教職員が協力して対応して参りました。この度発足した新しい学生修学サポートセンターは、その精神と協力体制を引き継ぎつつ、よりきめ細やかな支援をして参りたいと思います。

近年、高等教育機関において、障害者の学生支援のための相談窓口が開設されています。大学において、教育的配慮を行う必要のある障害を持つ学生が増加傾向にあります。その対応については、大学ごとにまだ差があると言えます。

私は、教育的配慮を行う必要のある障害を持つ学生の増加傾向について、本人が長く、自分のこれまでの生きづらさや学びづらさの原因が分からず、自分ではあまり気にしていなかったり、大学に入ってから困り感が増していったりしたのではないかと思います。大学は、高校と違い、自由に単位を取り、自分の大学での学びをデザインします。また、学費や生活費を稼ぐためのアルバイトやサークル活動を始めて、学業と複数のことを同時進行します。高校とは格段に自由な時間が広がります。

あるいは、大学は授業後の課題の提出を求められることがありますが、苦手であるとなつてつい先延ばしになり、気が付くと単位を落とす結果になつていてということがあります。そして、自分が気が付かないうちに、どう頑張っても進級や卒業に必要な単位を取得できない事態となつてしまう。このような修学に躓きがちな学生を早期に把握し、適切な対応をしていくことが大切であると思つています。特に学生から自発的に支援を求めたくない場合、本学の学生修学サポートセンター新設の意味があり、教職員が学生の困難に気づく力が必要であると思えます。

また、学生は地域で暮らしています。学生の中には、地域で暮らしている生活課題や福祉的課題を抱えて大学で学んでいる人がいます。誰にも相談できない、そのつらさ、生きづらさが少なからず修学に影響を与え、心を悩ませている場合があります。学生にとつて、キャンパスにささやかな居場所を見つけ、そこで過ごす日々の中で、少しでも一緒に考えてくれる学友や教職員がいれば励まされるのではないかと思います。学生が抱える困りごとの中で、外部の適切な支援・協力機関につなげる

センター長 川島 貴美江

仕組みづくりも、新たなセンターの役割と考えています。障害の有無に関わらず、全学的に学生生活での困りごとに対応できる仕組みづくりと共に、就職活動や社会への第一歩につなげる切れ目のない仕組みづくりをしていきたいと思えます。

センター発足時より、職員が常駐しております。当事者として自ら問題解決を意志してくることは支援の基本ですが、困って孤立している、支援されるべきニーズを抱える学生を積極的に見つけていくために扉はいつでも開いています。キャンパスに一人学びづらさを抱え込んでいる、助けられた経験がない、支援の枠組みに繋がらない学生の存在に対応できるよう学生修学サポートセンターが開設されたのです。



## アントレプレナー育成プログラムについて

人間社会学科長 川島 美奈子

2022年9月28日より人間社会学科長となりました川島美奈子です。どうぞよろしくお願ひいたします。人間社会学科では、2023年度から新たに「アントレプレナー育成プログラム」を開始しました。起業・創業（会社に勤めながら副業することも想定）は、2013年以降からの「第4次ベンチャーブーム」、すなわち金融緩和という社会変動やAIという新技術、変化の速い時代に流されないように、やりたいことを事業にしたい人たちが政府も支援する世の中で注目されています。また、意欲的な留学生は、留学目的を「起業したいから」だとしてよく答えてくれています。そして、商業高校でも探究学習に起業を取り入れるようになり、高大接続の学びが人間社会学科でもできるようにと、このプログラムを設置しました。具体的には、新たに卒業生や静岡市産学交流センターから講師をお願いし、ビジネスプランを作成させてビジネスコンテストに応募することを目標とする「起業・経営戦略実

践論」、営利を目的とするだけではなく、社会問題の解決としてビジネスを活用する人たちのための学び、例えば不登校・いじめに遭った子どもたちの居場所づくりなどを事業化できる「ソーシャル・ビジネス論」、家業継承や静岡県内の中小企業理解にも役立つ「中小企業論」などを新たに設置し、国際的に通用する世界共通の規格である「オープンバッジ」を取得できるようにしたプログラムです。意欲の高い学生は、静岡市産学交流センターのご協力や、また卒業生の協力もあり、2023年度のビジネスコンテストに応募できるように、今ビジネスのアイデアを出しを頑張っています。また、大学内ベンチャーについても「英和のブランドは、自分たちで作っていく」という学生たちが中心となつて、また身近な問題（空きコマの有意義な過ごし方やバスの混雑問題）を解決しよう、そして自分たちの英和ブランドを発信していくとする試みに着手しているところです。





# 静岡英和学院維持協力会 《静岡英和フェロシップ》

御挨拶

静岡英和学院維持協力会 会長 金原 勝



## 常任理事会報告

2023年8月28日午後1時30分から、2023年度維持協力会常任理事会が開催されました。

会議は、左記の議案についてご審議をいただき、全員の賛成により承認されました。なお、第2号議案では、2023年度会長には金原勝氏が選任されました。

- 第1号議案 役員を選任について
- 第2号議案 会長の選任について
- 第3号議案 2022年度事業報告並びに収支決算について
- 第4号議案 2023年度事業計画並びに収支予算について

維持協力会は、学院がその教育方針と教育目的に基づき教育を行う将来に向かって発展を続けるために必要な経営基盤の確定に寄与すること、また教育環境の整備の向上を援助することを目的に発足しました。

12年間の長きに亘り会長としてご尽力いただきました池田恵一氏からバトンを引き継ぎました。同窓生や関係者の皆様のご協力を得ながら、学院を盛り上げてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

## 2022年度事業報告

●事業活動関係  
事業費

大学・短大  
図書館の図書購入費用として 249,979円

高校・中学  
セラー服制定100周年記念事業及びホームカミングデー案内郵送料として 1,286,460円

※詳細は学院のホームページをご覧ください。  
<https://www.shizuoka-eiwa.jp/information/fellowship.html>

## 賛助会費納入者御芳名

2022年4月1日～2023年3月31日 (敬称略/順不同)

- 法人会員  
(株)アイコービルサービス  
(株)門田電話工業所  
(株)トノイケ  
(株)セノ  
御庭番もちづき  
日進電機(株)

- 個人会員  
大塚由季、川瀬昌之、森田拓子  
松永やす系、ホームマルク 紀子  
伊藤瑞男・眞子  
匿名希望 12名

## 静岡英和学院維持協力会役員名簿

2023年8月29日現在

役職名	氏名	選出根拠(規則第6条)
会長	金原 勝	中高PTA会長
副会長	河岸照美	大学後援会長
〃	安田成希	大学・短大同窓会長
〃	森田拓子	中高同窓会長
常任理事	川瀬昌之	大学後援会副会長
〃	平田 司	中高PTA副会長
〃	榎戸真弓	大学・短大同窓会副会長
〃	池ヶ谷知代	中高同窓会副会長
〃	永山ルツ子	大学・短大部 学長
〃	大橋 邦一	中高 校長
〃	山田美代子	法人理事
〃	鈴木秀直	法人理事
〃	松澤重喜	事務局長
会計	新名隆大	大学後援会会計
〃	永田 央	中高PTA副会長
〃	山木 和子	事務局財務課長代理
監事	桑原えみ	大学後援会監事
〃	矢部英仁	中高PTA顧問
顧問	石井博文	法人理事長

## 静岡英和フェロシップ —英和を支える仲間《賛助会員》を募ります—

学院の更なる発展、教育環境の整備、拡充を図るため、より多くの方々が賛助会員として参加され、一層のご支援・ご助力を賜りますようお願い申し上げます。  
静岡英和学院維持協力会 会長 金原 勝

### ●賛助会員資格

本会の趣旨にご賛同くださる方は、どなたでも会員になれます。

### ●賛助会員費(年間/1口)

個人: 5,000円

法人: 10,000円

(複数口お願いできれば幸いです)

### ●入会時期

いつでもご入会をお受けしております。

### ●賛助会費納入口座

郵便局: 名古屋 00810-5-35256

加入者名: 静岡英和フェロシップ

ご助力いただける方は同封の振込用紙(振込手数料本会負担・郵便局用)をご利用ください。

# 中高同窓会

## ◆ご挨拶

同窓会長 森田 拓子  
一九八一（昭和五六）年卒



長引いたコロナ禍もようやく出口が見えて参りました。

世界をどうとらえるかは、それぞれ個人の価値観に委ねられますが、英和同窓生の皆様は、どのような時でも人を慈しみ平和を願うことでしょう。同窓会も『新しい価値観』を取り入れながらも、『普遍的な価値観』を持ち続け、愛と奉仕の精神で母校の未来への発展のために活動して参ります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

## ◆二〇二三年度同窓会定期総会

同窓会定期総会が五月一三日に母校礼拝堂において四年ぶりに開催されました。

当日は、古希を迎えられる昭和四七年ご卒業の皆様をはじめ、コロナ禍で学校でのお祝いができなかった年のお祝い学年である四四、四五、四六年にご卒業の皆様もお招きし、百名近くの同窓生がご出席くださいました。

森田拓子同窓会長からの挨拶に続き、来賓のご挨拶では大橋邦一校長より、同窓会への感謝のお言葉もいただきました。

全ての議題をご承認いただいた後、学校の近況報告をされる加藤咲穂生徒会長が修学旅行から前日夜帰

宅の為、杉山礼美教諭（昭和六一年卒・同窓会担当教諭・国語科長）が、若き姉妹方が建学の精神を尊び、母校の発展に繋げようと強い様を代読してくださいました。

そして、古希をお迎えた皆様に記念品を贈呈し、お祝い学年を代表して遠藤美知子さん（昭和四四年卒）が母校に対する変わらぬ愛情、恩師への感謝の気持ちを皆様に伝えてくださいました。

第二部では、現在英和のPTA役員を務めておられる静岡中央警察署生活安全課長 静岡県警部 永田中央様に『防犯の心得』をお話していただきました。詐欺や強盗が身近で起こっている今、だれもが被害者になりうる状況を理解し、防犯に対する新しい心構えを具体的に教えていただきました。

総会開催に際しましては、司会を渥美澄子さん（昭和五二年卒）、奏楽を遠藤富美子さん（昭和五〇年卒）、礼拝を武井裕賀里教諭（昭和五八年卒・聖書科長）、各方面との連絡を杉山礼美教諭にお願いいたしました。準備をお手伝いいただきました同窓生の皆様、母校の教職員の皆様に心よりお礼を申し上げます。

## ◆セーラー服制定百周年記念事業

昨年、母校は創立一三五年と同時にセーラー服制定百周年を迎えました。これを記念して、静岡英和学院維持協力会より御援助をいただき、学校、PTA、中高後援会と私共同窓会が力を合わせ、様々なイベント

を企画、開催いたしました。

制服でのダンス動画制作、英和祭での制服ファッションショーの開催など、同窓生、在校生や保護者の皆様にたいへん喜んでいただきました。ファッションショーでは、未来の英和生である小さい方々に、同窓会が提供した一二〇サイズ、一三〇サイズの制服を着てランウェイを歩いていただき、場内から歓声があがりました。このミニ制服は、英和祭での制服試着コーナーでも大活躍しました。これらのイベントの様子はYouTubeでも配信し、品格を保ちながらも、新しい時代にマッチした明るくのびやかな英和の様子が紹介され、静岡英和女学院の良き広報活動となりました。

そして記念事業の最後を飾りましたのが、同窓会企画「制服リカちゃん」の発売です。販売元である同窓会サポート会社サラト様と打ち合わせを重ね、発売元のタカラトミー様には、何回も試作品の手直しをお願いし、私達の誇りである制服を出来る限り忠実に再現していただきました。おかげ様でたくさんご購入申し込みをいただき完売いたしました。背筋を伸ばして凛として歩いたあの頃、明るく楽しかった青春時代を思い出していただけるものと確信しております。お手元に届きますのは来年三月末です。お楽しみに。

## ◆同窓生の活躍（第三回）

英和の同窓生には、様々な才能をいかしたお仕事をなさっている方がたくさんいらっしゃいます。今回はフリーライターとして地元静岡県の産業、文化、歴史などを取材し活躍する鈴木真弓さんに寄稿していただ

きました。

## 「在校時代の透明な時間」

鈴木 真弓  
一九八一（昭和五六）年卒



私は英和を卒業し、大学で歴史を学び、静岡へ戻って

から英和の大先輩である大祖母の縁でタウン誌のライターになりました。駆け出しの頃に出合った静岡の地酒をライフワークに取材し続けて、今年四月には『杯は眠らない』しずおか地酒35年の取材録』を出版しました。日本酒の取材は伝統や職人技を知るだけでなく、食や農業や水資源、地元小売業や飲食業の経営環境を含め、静岡という地域の有り様を考えることができます。お酒を造っている蔵元さんと杜氏さんは魅力的な人が多いので、機会があったらぜひ読んでみてください。

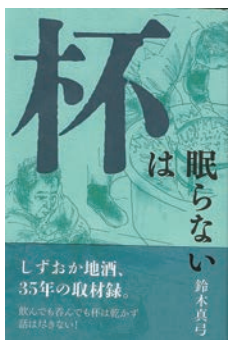
在学中の忘れられない思い出といえば、祈祷の啓発ポスターを描く機会があり、好きだった東大寺の月光菩薩をモデルに描いたところ、「仏像を描くとは何事だ」と叱られたこと。実は私、校内図書館ではキリスト教よりも仏教の本を借りて読むアマノジャクでした。

詩の創作課題では、当時NHKで放送していたシルクロードをイメージした詩を書いて、「これも仏教がテーマだから叱られるかな」と思ったところ、意外にも美術の先生が褒めてくれて、「あなたは絵じやなくて文学に進みなさい」と。当時、漫画家かイラストレーターになりたくて東京の専門学校に進むつもりだっ

たのですが、やはり、よき指導者が指し示す方向というのは、十代の子どもにとつてインパクト大です。

昨年は静岡新聞社刊『静岡県の終活と葬儀 自分や家族のために』を執筆しました。県内の相続アドバイザー、グリーフケア専門家、宗教施設、葬儀関連会社等を長期取材し、葬にまつわる地域の伝統や習慣を調査。英和時代に出合つて親しんできた宗教学の本が還暦の年になってこういう形で役立つとは思いませんでした。執筆を通して、死をタブー視する文化が根強い日本で自らの死生観を確立するには、何事も慌てず受容できる心の幅や深みが必要で、それには、英和時代に習慣付いた祈祷のような、自分に向き合う透明な時間を持つことが必要だろうと実感しました。死をとらえるというのは、いろいろなものをそぎ落とし、素の自分に還る作業だからです。

ひとり身の自分の終活を支えてくれるのは、酒縁で得た気の合う同志と、素の自分を知っている英和時代の友人になるでしょう。効率や生産性を一切考えない無色透明な時間を共有できる仲間が、何より頼りになると思っています。



著者・販売者・

表紙・本文中イラスト

谷島屋静岡パルシェ店

ひばりブックス(鷹匠)他で販売中

鈴木真弓



# 大学・短期大学部同窓会

## ◆ご挨拶

会長 安田 成希  
(地域福祉学科4期)

新型コロナウイルス感染症のパンデミックに苦しんできた3年間、そして昨年2月からはウクライナへの軍事侵攻により、多くの人々の命が奪われ、平和な生活が失われるという辛い事態を目の当たりにしてきました。私たちには何ができるのか、何をしなければならぬのかという問いと向き合いながら、今、また新しい季節を迎えました。

これまで制限されていた海外渡航は徐々に再開され、人々の交流も活気を取り戻した様子です。本学留学生の国際交流も活発に行われており、異文化理解につながる貴重な機会を活かし、多くの英和生が日々の学びを一層豊かなものにしていただけるよう期待に胸を膨らませていきます。

同窓会では近年、コロナ禍の状況下で自粛してきた対面形式での企画について状況を見ながら開催を検討しております。一方では、生活に浸透してきたオンライン形式についてもその利点を活かしながら創意工夫し、対面・オンライン双方のシステムをうまく活用して同窓会活動の場を広げて参りますので皆さまの積極的なご支援、ご参加をお願い致します。

## ◆第51回総会

6月17日、ホテルグランヒルズ



静岡にて同窓会第51回総会を開催することができました。会場へ直接お運びいただいた方、Zoomにてご参加くださった方、誠にありがとうございました。会場にてご参集くださった皆さんと、画面に表示された資料を見ながら質疑応答を行う形で議決をいただきましたという手法を探らせていただきましたが、皆さま方のご理解とご協力により、各議案賛成多数で可決していただき、今年度も同窓会事業を継続することが出来ております。

総会終了後は、大河ドラマで注目されております、徳川家康が静岡で過ごした日々をまとめた歴史漫画を出版された絵本作家/造形作家の



「たたらなおき」氏をお招きし、特別講演を開催いたしました。徳川家康73年の生涯のうち、人生の半分を過ごしたという静岡にはどんな想い入れがあったのだろうか。なぜ静岡を安住の地に選んだのか。様々な考察を元にすてきなお話を聞くことが出来ました。たたら氏の著書は大学図書館に寄贈いたしましたので、どうぞお手にとっていただければ幸いです。

また、同窓会が支援を続けている「JLPT 日本語能力試験」を受験する留学生の中から、N1に合格した留学生2名に代表でスピーチをいただきました。彼らの日本そして静岡英和に対する思いは愛に溢れており、日々、日本語スキルに磨きをかけ学び修めようとする努力の姿勢は、実に頼もしく、英和生全体の刺激となっているでしょう。今後世界的に活躍していく留学生を継続的に支援していきたいと考えております。

また、同窓会が支援を続けている「JLPT 日本語能力試験」を受験する留学生の中から、N1に合格した留学生2名に代表でスピーチをいただきました。彼らの日本そして静岡英和に対する思いは愛に溢れており、日々、日本語スキルに磨きをかけ学び修めようとする努力の姿勢は、実に頼もしく、英和生全体の刺激となっているでしょう。今後世界的に活躍していく留学生を継続的に支援していきたいと考えております。



## ◆図書館への新刊図書寄贈

維持協力会(池田恵一会長)の補助金制度を活用し、今年も大学図書館への総額50万円(約200冊)の図書を寄贈することができました。図書館司書の先生と意見交換を重ね、4学科の学生が研究に力を注ぎ、論文作成等がはかどるような興味深い内容の図書を選定しました。その他、DVDと再生機・ディスプレイを含む視聴覚機材や、中高生や卒業生にむけての図書も、図書館を身近に感じていただけたらという願いを込めて選書することが出来ました。静岡英和学院大学の図書館は在学生だけでなく、静岡英和女学院の中高生・卒業生・さらに一般市民の方も利用することが可能です。静岡英和を身近に感じてくださるように図書館が魅力ある場所として注目されていくことを願います。

維持協力会(池田恵一会長)の補助金制度を活用し、今年も大学図書館への総額50万円(約200冊)の図書を寄贈することができました。図書館司書の先生と意見交換を重ね、4学科の学生が研究に力を注ぎ、論文作成等がはかどるような興味深い内容の図書を選定しました。その他、DVDと再生機・ディスプレイを含む視聴覚機材や、中高生や卒業生にむけての図書も、図書館を身近に感じていただけたらという願いを込めて選書することが出来ました。静岡英和学院大学の図書館は在学生だけでなく、静岡英和女学院の中高生・卒業生・さらに一般市民の方も利用することが可能です。静岡英和を身近に感じてくださるように図書館が魅力ある場所として注目されていくことを願います。

## ◆祈りを込めて明るく未来へ

文頭で述べたように、今日も世界のどこかで戦争が続いています。私は、日常生活においても困っている人がいてもどこか他人事に感じてしまったり、助けを求めている人がいても巻き込まれることを恐れて手を差し伸べることをあきらめたり、良いことがあっても裏があるのではないかと人を疑ってしまったりと、自分の無力さと意気地の無い様に情けなく思う時があります。

昨今の自身が置かれている立場を、「神様が与える試練」であると捉えることにしました。聖書の解説書によれば神の与える試練というのは「人生を送っていく上でぶつかる苦難によって精神を鍛えること、その苦難を拒絶しないで向き合っていくこと」とあります。

本学の学院聖句には「隣人を自分のように愛しなさい」と書かれています。1世紀以前前からこれは変わりません。まず自分自身を大切に生き、お互いを認め、敬い合っていくことを同窓会活動の取り組みの第一歩としたいと思います。

最後に、困難な生活に影響を受けられている皆様に、心よりお見舞いを申し上げ、まだまだ予断の許さない日々が続いておりますが、尊い皆様の生活が安心安全の中で過ごせる日々となりますようにお祈りするとともに、限られた場と時間の中ではありますが、学院の為、学生の為、同窓生の為、真摯に取り組んで参ることをここに誓いし、皆様へのご挨拶とさせていただきます。

これからも本学同窓会への積極的なご参加、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 新任紹介欄

- ①出身地 ②趣味 ③好きなもの
- ④アビールポイント ⑤一行メッセージ

### ◎大学・短大部



人間社会学科准教授  
佐々木 謙一

- ①東京旅
- ②読書
- ③友人とお話しすること
- ④アビールポイント目で見ると何事にも誠実であることだけが取り柄です。
- ⑤静岡は社会人であった時にお世話になった土地で、とても思い出があります。何も出来ない不器用なわたしではありますが、主がいづも共にいて下さることを感謝しつつ、一人でも多くの生徒が導かれるように精一杯頑張ろうとおもっております。よろしくお願します。



人間社会学科准教授  
郭 育仁

- ①台湾・台南市
- ②洋服の色選び、香を聞く
- ③茄子だけが天敵です。
- ④私の日本地図は西の京・山口に始まり、京都 三重 静岡へ北上してまいりました。暮らしの中の観光を愉しみながら、街の人々と共に喜怒哀楽を分かち合い、学ばせていただいております。
- ⑤本学及び静岡の地に貢献できるように日々精進してまいります。どうぞよろしくお願します。



人間社会学科講師  
石山 久美

- ①大阪府高槻市
- ②水泳
- ③晩柑・をぐら山春秋・御座候。子供時代からずと飼いは黒柴。
- ④専門は英語教育学で、特に音声学です。読む、書く、聞く、話すという英語4技能をバランス良く上達させるための授業を行なっています。
- ⑤卒業後に社会で羽ばたくための礎となる、充実した大学生活となるよう貢献させていただきます。



人間社会学科講師  
桑島 隆二

- ①愛知県名古屋市中
- ②ルアーフィッシング、ガンパ



コミュニケーション福祉学科  
特別教員教授  
田口 喜久恵

- ①山口県
- ②美術・骨董
- ③赤ちゃん、食べること、野球観戦(TV)、旅行
- ④大谷翔平選手は言います「身体が資本なので、色々なことに気を付けます。食事、睡眠、トレーニング」。考えてみたら私たちはみな「身体」が資本で生きています。普段身体を意識することは少ないですが、生命活動は意識に上らないものほど大切です。その「身体」は唯一の私有財産であることを大谷選手のパフォーマンスが示しています。大谷選手は未曽有の私有財産を築いています。私たちが「身体」を観察し、気づかい、メンテナンスを心がければ私有財産を大きくすることができそうです。



コミュニケーション福祉学科  
特別教員准教授  
片川 智子

- ①静岡県島田市
- ②趣味というほどのものではありませんが、料理本を参考に、いろいろな料理を作ることが好きです。家族がその犠牲になっています。
- ③花を觀賞したり育てることが好きです。チューリップは、毎年80球くらいをプランターに植えて開花を楽しみますが、見事に咲きそった年と、うまく育たなかった年もあり、なかなか大変です。
- ④おっとりとした性格に加えて、最近では加齢現象も加わり、身体の反応がますます受け難い刺激でパワーを充電しています。
- ⑤保育に関しては、まだまだ学習の必要性を感じています。少しでも皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。



食物栄養学科講師  
田崎 仁美

- ①栃木県
- ②登山、マラソン
- ③カニ
- ④休日は、時間があれば山登りやドライブ

にでかけたりにしています。静岡に来たばかりなので、静岡の自然を満喫したいと思います。

⑤このたびご縁があり、静岡英和学院大学短期大学部に着任させていただきました。学生のみならず、将来になりたい自分に近づけるよう、尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願し申し上げます。



学生課 保健室 事務主幹  
森田 美和子

- ①秋田県
- ②中医学、薬膳を学ぶ
- ③運動(ジム、ヨガ)
- ④ピアノを弾く
- ⑤おうち時間・・・家の中の片付け、観葉植物のお世話、庭の手入れ、中医学や薬膳の本を眺める&学ぶ、お料理などBGMをかけながら過ごす時間
- ⑥薬膳を10年学んできています。食事で体調を整えることを自身の身体で日々実験中です。その中から、伝えられることがありましたら、立ち話でもさせていただきます。
- ⑦3人の子供の母でもあり末息子は今現在大学生。もう少し、お母さんの存在で保健室に来る学生に寄り添えたらな〜と思っています。
- ⑧5年前、保健室業務の経験がない中、本学に採用していただき、この間たくさんのお話を学びました。今回新たに、専任職員として採用していただき感謝申し上げます。新たなステージと思ひ保健室業務を充実出来たらと思っています。

### ◎中学校・高等学校



常勤講師  
近藤 悠香

- ①静岡県焼津市
  - ②神社仏閣巡り
  - ③Google Earthで川を上流まで遡っていく
  - ④お味噌汁とおにぎり、あと、お出汁の染みだ油揚げも好きです。
  - ⑤声がウケイス嬢のようだとよく言われます。
- 幼稚園から大学院まで静岡なので、静岡マスターと言えるかもしれません。誠にご挨拶に感謝いたします。
- 若輩者ではございますが、精一杯学校のために努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

### 法人役員人事

#### 理事長の選任

(2023年7月3日付)

理事長 石井 博文

#### 理事・評議員の選任

(2023年7月1日付)

学識経験者 石井 博文

学校の長 柴田 敏

学校の長 永山ルツ子

学校法人の事務局長 大橋 邦一

日本基督教団教職 松澤 重喜

大学教職員 佐々木知夫

大学教職員 市川 充俊

大学教職員 山田美代子

中高教職員 鈴木 秀直

中高教職員 山北 力

大学の卒業生 榎戸 真弓

中高の卒業生 森田 拓子

学識経験者 不破 俊

学識経験者 栗原 績

学識経験者 池田 恵一

学識経験者 犬塚 協太

監事 五十嵐正晃

監事 児平 隆一

#### 評議員の選任

(2023年7月1日付)

日本基督教団教職 松田 伸

大学教職員 林 智幸

中高教職員 佐々木謙一

中高教職員 石岡裕次郎

大学の卒業生 相原 健一

教育理解者 安田 成希

教育理解者 佐野 容子

教育理解者 池田 雄次

教育理解者 宮澤ひろ子

教育理解者 黒沼由利子

教育理解者 遠藤 孝子

教育理解者 川瀬 昌之

後援会・PTA役員 大木 恵子

後援会・PTA役員 河岸 照美

後援会・PTA役員 大石 恵子

後援会・PTA役員 金原 勝

後援会・PTA役員 大石 剛士

人間社会学部長 林 智幸

短期大学部部长 児玉 和人

◎任命 (2023年4月1日付) 川島貴美江

教学特別参与 石井 博文

◎退職 (2022年9月30日付) 安本美登里

准教授(食物栄養) (2023年3月31日付) 日比 優子

教授(人間社会) (2022年10月11日付) 大坪 哲也

准教授(人間社会) 川崎 友加

講師(人間社会) 玉井 紀子

准教授(コミュニケーション福祉) 鈴木 幸子

特別教員准教授(コミュニケーション福祉) 石井 浩子

◎採用 (2022年10月1日付) 石井 浩子

特別教員准教授(食物栄養) (2022年10月11日付) 長谷川菜美

助手(食物栄養) (2022年4月1日付) 佐々木謙一

准教授(人間社会) 郭 育仁

准教授(人間社会) 石山 久美

講師(人間社会) 田口喜久恵

特別教員准教授(コミュニケーション福祉) 片川 智子

講師(食物栄養) 田崎 仁美

◎昇任 (2023年4月1日付) 金 承子

教授(人間社会) 毛利 康秀

◎退職 (2023年3月31日付) 安池 理乃

常勤講師(理科) (2023年4月1日付) 安池 理乃

◎採用 (2023年4月1日付) 近藤 悠香

常勤講師(情報・社会) (2023年3月31日付) 近藤 悠香

◎退職 (2023年3月31日付) 高橋 竜

学務部学部事務室係長 (2023年4月1日付) 高橋 竜

◎採用 (2023年4月1日付) 森田美和子

学務部学生課事務主幹(保健室) (2023年4月1日付) 森田美和子

◎昇任 (2023年4月1日付) 松本 恭子

学務部入試課・企画広報課課長代理 (2023年4月1日付) 松本 恭子

学務部財務課主事 (2023年4月1日付) 手塚 文也

学務部総務課主事 (2023年4月1日付) 寺尾 俊輝

### 学院人事

#### ◎大学 短期大学部

(2022年9月28日付)

学長 永山ルツ子



理事会・評議員会

- 2022年9月12日
  - 臨時理事会
    - 評議員の補欠選任について
    - 静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部学長の選任について
    - 静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部副学長の選任について
  - 静岡英和学院高等学校中学校校長の選考について
- 2022年11月7日
  - 臨時理事会
    - 静岡英和学院中学校・高等学校校長の選任について
    - 日本私立大学協会評議員の選定について

寄付者ご芳名

- 2023年3月27日
    - 定例理事会・評議員会
      - 令和4(2022)年度第2回補正予算について
      - 学校法人静岡英和学院令和5(2023)年度事業計画について
      - 学校法人静岡英和学院令和5(2023)年度予算について
      - 静岡英和学院大学学則の一部改正について
      - 静岡英和学院大学短期大学部学則の一部改正について
  - 2023年5月29日
    - 定例理事会・評議員会
      - 令和4(2022)年度決算の認定について
      - 運用資金引当特定資産の取り崩しについて
      - 令和5(2023)年度第1回補正予算について
      - 学識経験理事の選任について
      - 評議員の選任について
      - 監事の選任について
      - 評議員・理事の選任について
      - 理事の、他の学校法人の理事との兼務について
  - 2023年7月3日
    - 臨時理事会
      - 理事長の選任について
      - 理事長職務の代理等の順位について
- 2022年4月1日、2023年3月31日  
ご寄付いただいた皆様へ  
厚く御礼申し上げます  
(敬称略/順不同)
- かえで基金
    - 石井 博文、大塚由季、匿名 19名
    - 229,000円
  - ◆大学・短大指定寄付
    - 〈大学校友会〉
      - 大学卒業記念 700,000円
      - 短大卒業記念 300,000円
      - 〈大学後援会〉
        - 大学奨学金制度資金 1,920,000円
        - 短大奨学金制度資金 1,705,000円
      - 〈維持協力会〉
        - 図書購入寄付金 249,979円
        - 〈その他〉
          - 教育環境整備充実寄付金(64名) 1,575,000円
          - 施設整備
            - 前田 節子、匿名3名 33,000円
            - 静岡英和学院大学および短期大学部同窓会 250,000円
        - ◆中学・高校指定寄付
          - 中学・高校入學時任意寄付金(39名) 3,750,000円
          - 高3卒業記念 262,500円
          - 〈施設関係〉
            - 2022年度PTA卒業生等積立金(83名) 4,991,000円
            - 施設整備
              - 岡田 明郎、伊藤 記美代、森田 拓子、松永 やすゑ、大場 以久美、新生会 穂和の園 伊藤 富美子、静岡草深教会、静岡英和女学院同窓会(森田 拓子) 匿名 13名
            - 〈PTA〉
              - バザー収益金 125,789円
              - 〈その他〉
                - 維持協力会(事業活動補助金) 1,286,460円
          - 合計 17,935,728円

2023年度 学校主要行事表

静岡英和学院	4月 7日(金)	入学式	4月 4日(火)	入学式
	4月10日(月)	始業式	4月 5日(水)	前期授業開始
	4月22日(土)	メイプルコンサート	9月19日(火) ~20日(水)	スチューデントリトリート
	5月 9日(火) ~11日(木)	中学スタディツアー(国内)	9月22日(金)	後期授業開始
	5月 9日(火) ~12日(金)	高校スタディツアー(国内)	9月27日(水)	9月卒業式
	5月31日(水)	体育祭	11月18日(土)、19日(日)	楓祭
	9月 8日(金)、9日(土)	英和祭	11月22日(水)	創立記念礼拝
	11月24日(金)	第136回創立記念日	11月25日(土)	保護者セミナー
	12月16日(土)	学校クリスマス	12月 3日(日)	オープンキャンパス
	1月 4日(木)	二十歳の集い(中高卒業生対象)	12月20日(水)	クリスマス礼拝
静岡英和学院短期大学部	1月 6日(土)、20日(土)	中学校入学試験	3月12日(火)	卒業礼拝
	2月 6日(火)	高等学校入学試験	3月13日(水)	卒業式
	3月 1日(金)	高3卒業式・卒業記念パーティー	3月17日(日)	オープンキャンパス

**住所変更等は同封のハガキで!**

学院にとって大切な財産である同窓生名簿をより適切に管理し、更には学院の発展に資するものとするため、事務局にて2012年度より名簿管理システムを導入し、一元管理しております。

転居や結婚等で登録情報の変更が生じた場合は同封のハガキにてご連絡下さい。なお、以前ご案内いたしましたIDとパスワードにより、静岡英和学院同窓生専用サイト(https://eiwa.alumni.jp/)にて更新作業をすることもできます。ID等お忘れの方は事務局総務課(05413331922)へご連絡いただけます。本人確認の上再発行することも可能です。

名簿は諸規定により適正に管理いたします。ご自身の個人情報の取扱いについて異議のある方は左記あてに書面にてご連絡ください。(事務局総務課 静岡市駿河区池田1769番地)

**編集後記**

39号では巻頭ページの特集に、理事長、院長、学長、校長の四者による座談会を企画しました。終始なごやかなムードでお話ははずみ、予定した1時間はあっという間でした。150周年に向けて、現在と今後の静岡英和学院をテーマとして取り上げていますので、ぜひご覧になってください。

## 寄付金の募集について

学校法人静岡英和学院は、1887(明治20)年に当時教育の機会に恵まれなかった女子に対し、静岡の地において高い知性と教養を与えることを目的に、静岡メソジスト教会の日本人牧師の提唱に、初代静岡県知事等の地方有力者が賛同支援し、カナダメソジスト教会婦人伝道会の積極的な参加を得て、静岡県で初めての女子の学校として創設されました。現在は中学・高校・短大・大学へと学びの門戸を開き、時代のニーズに合った学びを提供しています。

これまで以上の本学学生・生徒の活躍のため、施設面をはじめとした教育体制の充実を手掛けて参りたいと思います。財源の確保は法人の自主努力によるところはもちろんです。併せて皆様方からの温かいご支援を賜りたく、ここにご寄付のお願いを申し上げます。



**POINT** ご存知ですか？  
税制上の優遇を受けられます！

- Q** 税制上の優遇措置って何？  
**A** 寄付額に応じて減税が受けられる制度です。

例：卒業生Aさん → 英和に5万円寄付

### STEP 1 税額控除

年間の寄付合計金額 寄付金控除額  
 $(50,000円 - 2,000円) \times 40\% = 19,200円$

年間総所得の  
40%が上限



年間所得総税額の  
25%が上限

### STEP 2 住民税の寄付金税額控除

年間の寄付合計金額 寄付金控除額  
 $(50,000円 - 2,000円) \times \text{最大} 10\% = 4,800円$

年間総所得の  
40%が上限



### STEP 3 総額税額控除額の決定

①と②を合計した金額を減税

合計 = **24,000円** が **減税** となります。

※上記計算例は実際の減税額と異なる場合があります。  
詳細は所轄税務署までご確認をお願い致します。

### インターネット寄付について

本学では2019年度よりインターネットを利用した寄付金を募っております。

24時間受付可能で決済方法もクレジットカード・コンビニ・Pay-easy に対応し、寄付をより身近なものとしていただけようようにいたしました。

スマートフォンをお持ちの方は右記のQRコードから寄付ページにアクセスできます。

<https://www.shizuoka-eiwa.jp/donation/>



## 寄付金の種類

### 大学・短大部の施設設備への寄付

#### ● 大学教育環境整備募金 (大学・短大部)

目的：多様で優秀な人材の育成を図り、大学としての社会的指名に応えるため、教育研究施設設備充実や学生が安全で安心して学業に専念できる環境を整備する。

(振込口座)

静岡銀行 本店営業部  
普通預金 **1143264**

(口座名義)

学校法人 静岡英和学院  
理事長 石井 博文

### 中高の施設設備への寄付

#### ● 中高教育環境整備募金 (中学・高校)

目的：校舎等の維持、改修を推進する一方で、テラーメイド教育やICT教育など特色ある学校づくりの実現と旧弊した校舎から21世紀型の新校舎に建て替えることで生徒の教育環境を向上させるインフラ整備に努める。

(振込口座)

静岡銀行 本店営業部  
普通預金 **0794250**

(口座名義)

学校法人 静岡英和学院  
理事長 石井 博文

### 用途を限定しない寄付

#### ● かえで基金

目的：用途を定めない基金として平成26年度に新設。多種多様な事業等の支援に活用。

(振込口座)

静岡銀行 本店営業部  
普通預金 **0251469**

(口座名義)

学校法人 静岡英和学院  
理事長 石井 博文

寄付金は所得・税額控除の対象となります。同封の払込取扱票(ゆうちょ銀行用)をご使用になると便利です。また、インターネットでの寄付の受付(クレジットカード、コンビニ、Pay-easy 決済対応)も可能です。

※本学院の寄付金は特定公益増進法人の主たる目的である業務に関連する所得税法第78条第2項第3号又は法人税法第37条第4項に規定する寄付金となります。

